



議会
だより

ふなびた

No.157

26年/1



発行：山形県舟形町議会
平成26年1月24日



年頭の挨拶	2 P
一般質問に5議員	5～9 P
中学生議会	10～11 P
えがったなあ・編集後記	14 P



水木団子かざり（ふれあい育児の広場）



町議会議長 信夫 正雄

「明るい話題の多い年に」

明けましておめでとぅございませう。

新年を迎え、皆様のご健勝と4年連続の豪雪にならないことを願っております。昨年度より、日本経済が好調との報道を見聞きいたしますが、地方への景気回復の波は、まだ遠い沖の方で足踏みしているように感じられます。

昨年の舟形町は、議会も後押しした小学校の統合が実現し、4月から保・小・中の一貫教育がスタートいたしました。今後は教育に関わる多くの皆様の意見を集約して「教育の町」づくりに努力すべきと思っております。

また、一昨年の「縄文の女神」の国宝指定に続き、昨年は多くの明るい話題を町内外に発信し、舟形町を広くアピールする年となりました。今年も継続できるよう「縄文の女神」のご利益にも期待をしております。

議会への傍聴もいつも来ていただいている皆様はじめ、小・中学生、他町村の議員の方々、多くの女性の皆様にも傍聴いただき感謝申し上げます。これらのことも励みにして今年も議員一同初心を忘れず、開かれた議会を目指し精進してまいります。今後も町議会に対し宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。

今年「午年」です。皆様にとって「物事が『うま』くいく」、「幸運が駆け込んでくる」年になりますようご祈念申し上げ念頭の挨拶といたします。

12月定例会 (3日~5日)

一般会計補正予算

子育て支援住宅整備に

546万円

12月定例会は、3日から5日までの会期で開催され、5人の一般質問に続き、一般会計・特別会計の補正予算等、全議案を原案通り全員の賛成で可決しました。なお、今期定例会の傍聴者は80名でした。

主な事業

- **婚活推進事業**
業務追加に伴う補正……………100万円
- **産地水産業強化支援事業**
鮎中間育成施設井戸ボーリング調査費……………250万円
- **除雪対策事業**
舟形・一の関線消雪井戸改修工事……………965万円
- **中学校管理事業**
体育館床等修繕費……………599万円

主な付議事件

- 一般会計・特別会計補正予算
- 町ふなっこ育成振興基金条例の設定
(地域での子育て活動への支援、図書整備に必要な資金を積み立てる)
- 町固定資産評価審査委員会委員の選任
(任期満了のため)
- 町人権擁護委員の推薦
(任期満了により山形地方法務局へ推薦するため)

質 疑 応 答

一般会計補正予算

議員 婚活推進事業を実施しての町長の感想は。

町長 率直に、テレビの効果は大きいと感じました。今回の番組では11組のカップルが誕生し、「子育てするなら舟形町」と宣伝してきた結果であり、結婚しやすい町にしていくな良いスタートになったと思います。



「お見合い大作戦」のひとつコマ

議員 保育所設置事業で、9月に848万円の補正をし、さらに100万円の補正となった理由は。

教育次長 臨時保育士の時間外手当の割り増し分と職員の振り替え休暇時の臨時保育士雇上賃金の増額になります。

議員 子育て支援住宅の整備計画があるようだが、建設場所、建設時期は。

地域整備課長 建設予定地は保育園の隣の敷地で今年度、地質調査と測量設計を行い来年度に建設の計画です。

議員 若あゆ温泉管理事業の測量、設計業務委託料の内容は。

産業振興課長 農水産物加工施設を設置するための基本設計の経費です。

議員 中学校管理事業の599万円の工事内容は。

教育次長 体育館の床のウレタン塗装と屋根の雨漏りの改修工事です。



着工した物産センター

議員 観光物産センター管理費事務用器具費109万円とあるが、まだ工事もされていない。工期は。

産業振興課長 観光物産センター（舟形駅）の喫茶コーナーのテーブル、いす等の購入費です。工事については2月末までに完成したいと思っています。

町ふなっこ育成振興基金条例の設定

議員 ふなっこ基金を活用できる具体的内容は。

教育長 旧小学校毎で地域の方々による、こども育成活動をメインにして活用していきたいと思っています。学校図書購入にも使用する考えています。



奥山 謙三 議員

まちづくり基本条例の早期制定を

課題等を精査し検討をすすめる

質問 「舟形町総合発展計画」に、町がめざす将来像の実現に向けて、4つの基本目標を提示しています。

3節 子育て・健康・教育の充実したまちづくり
4節 互助・共有・自立による協働のまちづくり
協働のまちづくりをすすめるためには、「まちづくり基本条例」を早期に制定しすすめるべきと思う、町長の考えは。

町長 条例は、いろいろな専門知識と、住民を巻き込んだものにならないと意味がないものとなり、制定にあたっては、ワークショップの開催などの会議が必要となります。今、町では、地域支援や除排雪活動支援事業や地域協働事業、地域づくり支援事業の展開、地域おこし協力隊の導入、自主防災組織化など、地域と行政がお互いの役割を認識しあって取り組ん

町長 条例は、いろいろな専門知識と、住民を巻き込んだものにならないと意味がないものとなり、制定にあたっては、ワークショップの開催などの会議が必要となります。今、町では、地域支援や除排雪活動支援事業や地域協働事業、地域づくり支援事業の展開、地域おこし協力隊の導入、自主防災組織化など、地域と行政がお互いの役割を認識しあって取り組ん

質問 これらのことは、米依存度が高い舟形町農業への影響は図り知れないと考えます。このような報道について、町長の見解は。

町長 新たな日本型直接支払制度の創設、経営所得安定対策の見直し、生産調整の見直し等の政府



地域づくり講演会

町長 条例は、いろいろな専門知識と、住民を巻き込んだものにならないと意味がないものとなり、制定にあたっては、ワークショップの開催などの会議が必要となります。今、町では、地域支援や除排雪活動支援事業や地域協働事業、地域づくり支援事業の展開、地域おこし協力隊の導入、自主防災組織化など、地域と行政がお互いの役割を認識しあって取り組ん

町長 新たな日本型直接支払制度の創設、経営所得安定対策の見直し、生産調整の見直し等の政府



改革が求められる水田農業



佐藤 広幸 議員

職員採用に計画性はあるのか

集中改革プランに基づき適正化計画を管理します



工事中の役場庁舎

平成22年度に設置された舟形町の世紀行財政改革推進委員会では、市民の代表10名により、効率的な行政運営の在り方について、議論していただいた経過があり、平成23年に建議書として、8項目にわたり、具体的な提言をいただきました。

その中で、「人件費の削減に努めること」「町の人口を考慮し、町民100人に対し、職員1名以内を目標とすること」また、「優秀な人材を計



業務風景

【質問】 町は、昨年度1名の職員を、今年度は5名の職員が採用され、次年度は更に2〜3名の職員採用を予定していると聞いています。

配置された各課では、新しい若い力が入り新鮮な空気が流れていることだろうと思います。

奥山町長が初当選した当初は「職員は不補充で

いく」と言っており、実践しました。2期目当選以降は、一転して大量採用となっていることに計画性が見えませんが、

平成23年に、舟形町の世紀行財政改革推進委員会から建議書が提出され、「職員の目標数は、町民100人に対し行政職員1名以内と考えるべき」とありますが、どの

ような計画のもとに職員採用をしていくつもりなのか質問します。

【町長】 平成19年、当時の伊藤町長に、佐藤議会議長から「舟形町議会地域活性化調査特別委員会」の決議書が提出され、定員管理適正化計画は、「最終目標を人口1000人当たり職員10人以下であること」「平成23年度までは、新規職員採用は行わないこと」との要請を重く受け止め、忠実に履行してきました。

平成22年度に設置された舟形町の世紀行財政改革推進委員会では、市民の代表10名により、効率的な行政運営の在り方について、議論していただいた経過があり、平成23年に建議書として、8項目にわたり、具体的な提言をいただきました。

その中で、「人件費の削減に努めること」「町の人口を考慮し、町民100人に対し、職員1名以内を目標とすること」また、「優秀な人材を計

画的に採用すること」などを提言しています。

町では、平成17年度からの「集中改革プラン」に基づき、平成30年度までの定員管理適正化計画を作成し、適正な職員数の管理を行なっています。

計画策定時の職員数は93名でした。目標年次の平成30年度には79名に計画しています。現在の職

員数は77名です。

毎年、退職者が続きますので、総人件費を抑制しながら、町職員の年齢構成のバランスを保持し、長期的な展望に立ち、健全な財政運営を図り、行政サービスの更なる向上を目指し、安心安全のまちづくりに尽力していきたいと思っております。



齋藤 好彦 議員

地域と町による健康づくり

平成26年度に計画書を見直す



介護予防教室

【質問】 平成25年4月からスタートした健康日本21（第2次）は、少子高齢化や疾病構造の変化が進展する中で、子供から高齢者まで国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な方針を定めたものであり、この方針

に基づく舟形町独自の計画策定の必要性があると考えます。計画策定にあたっては、地域と行政が一体となった実効的な計画策定が望ましいと思えます。町長の考えは。

【町長】 町では、「ふながた健康21計画書（H16〜26年度）」の見直しを平成26年度に実施する予定です。広く策定委員を募集し町民の意向を取り入れた計画にしたいと考えています。

交流事業による産業振興を

今後増大する福祉、医療、介護ニーズに対応するため「健康日本21（第2次）」は、国民運動、国民運動として展開されますが、何といたっても健康づくりに関する一人ひとりの意識と行動の変容が不可欠であると考えてい

【質問】 交流事業でのイベントにかかわらず、仙台市内での定期的な舟形町のPRを行う仕組みづくりを検討してみたいと考えています。土日開催の「舟形市」とかJA、商工会、町が連携し農産物や加工品など舟形町の特産品を広くPRすることにより、産業の振興に結びつくのではないでしょ



産直まんさくの店（五橋中学校）

ます。住み慣れた地域で、健康長寿で安心して暮らせるよう、地域ぐるみで、第6次基本構想にある「出あい、ふれあい、支えあい、新たな結いの創造」を家庭、地域、町で具現化していくことが必要と考えています。

【町長】 仙台市内での定期的な「舟形市」等の取り組みについては、東京都内と比べ販売物の運搬距離が短いことから大変魅力的で、町のPRや所得向上にも繋がるもの

と思います。6月に舟形で開催した産消提携事業推進フォーラムにバネラーとして参加していただいた方々とも相談しながら新たな取り組みも検討していきます。



佐藤 勇 議員

大雪に備えた効率的な除雪対策を 旧工区の範囲にとらわれることなく連携を図る



安全祈願祭

【町長】平成26年度以降の農業施策については、今、国で協議している米政策の見直しや、TPP協議の行方にも大きく影響されることが予想されます。

【質問】農業生産を無くして町の存続はないものと思われれます。農業は「構造改革に取り組み、競争力強化を図る必要がある」と言われていますが、中山間水田地帯の町としては、水田をフルに活用していく取り組みが最大と思われれます。町の26年度に向けての農業振興策を伺います。



園芸作物栽培セミナー



叶内 富夫 議員

報酬審議会の開催を 自主的に給与の削減を実施



答弁する奥山町長

【質問】少子高齢化が急速に進み人口6千人を割り込み、時代に即した体制づくりが求められています。各種補助金の見直しをはじめ、職員定数の削減、各種委員の報酬等メリハリのある行財政改革が急務であると考えます。早急に改革案を提示し、報酬審議会を開催する考えはないか伺います。

【町長】町では平成17年度から5年間にわたり集中改革プランを作成し、行政の効率化とスリム化に向け取り組んでまいりました。舟形町特別職の報酬等審議会条例第2条に「町長は、議会の議員報酬の額並びに町長、副町長及び教育長の給料の額に関する条例を議会に提出しようとする時は、あらかじめ当該報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする」とあります。議員報酬や町長、教育長等の給料の改定を議会に上程することを前提として報酬審議会が開催されますが、現段階では最上地方町村会においてもそのような動向は無いものと理解しています。国や町の財政事情を考慮して、「町長等の給与の特

【町長】町では平成17年度から5年間にわたり集中改革プランを作成し、行政の効率化とスリム化に向け取り組んでまいりました。舟形町特別職の報酬等審議会条例第2条に「町長は、議会の議員報酬の額並びに町長、副町長及び教育長の給料の額に関する条例を議会に提出しようとする時は、あらかじめ当該報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする」とあります。議員報酬や町長、教育長等の給料の改定を議会に上程することを前提として報酬審議会が開催されますが、現段階では最上地方町村会においてもそのような動向は無いものと理解しています。国や町の財政事情を考慮して、「町長等の給与の特

【町長】平成16年に合併の賛否を問う住民投票の結果、「自立の町」を目指すとこの厳しい方向を選

【質問】国債残高1千兆円の大台を超えた今、子孫に負担を負わせることは許されません。今できることを早急にしなければなりません。痛みを伴う行財政改革はもとより、市町村合併、道州制の導入も選択肢の一つと考えますが、町長の考えを伺います。

市町村合併について

例に関する条例」の設定により、町長が給与30%、副町長が15%、教育長が10%の削減を自主的にしていることをご理解していただきたいと思います。

折しました。自立への町を目指し歩み始めて今年で10年が経過しました。多くの町民の皆様が、苦慮し真剣に選択した、自立の町への「熱い思い」を一時も忘れることなく、行政の無駄を排し、スリム化の行政を目指し、町民の幸せの実現に向けて邁進していきたく思います。

第4回中学生議会

平成25年10月30日第4回中学生議会が役場議場にて開催されました。中学生の意見をまちづくりに反映する場として、また、地方自治に町議会が果たす役割を学び、この体験を通じてまちづくりに参加してもらう目的で開催しています。

参加者は舟形中学校3年生全員と町長はじめ町関係者。11人の代表者が議員となり、立派にそれぞれの役割を果たしてくれました。

信夫議長挨拶

皆様のご協力によりまして、舟形町中学生模擬議会が開催できましたこと、厚くお礼申し上げます。

中学3年生が、みんなで考えた一般質問や政策提言、それに対する町当局のきちんとした答弁は、「舟形町を良くしていく」という皆様方の気持ちが、いずれの場面でも強く表れており、すばらしい中学生模擬議会だったと思います。

中学生の視点は、素直で的確な見方であり、これから町を背負っていく若者の意見として、真摯に受けとめなければならぬと強く感じました。

今回の中学生模擬議会が、明日の舟形町をみんなで考える契機となることを念願しております。

中学生模擬



議事を進める内和美月議長

1番 山田 史織議員

質問 若めゆ温泉の多目的グラウンドをサッカー、野球場に限定して整備してはどうか。あまり使用されていないようなら照明を他の施設へ移してはどうか。

町長 多目的活性化広場はこの数年、利用日数10日前後、また照明施設の管理費が年間100万円かかり4年前から使用していません。今後、移設なども含め検討していきます。



答弁を聞く議員

2番 柏木 樹議員

質問 町で力を入れているネギ、ニラなどの農産物の生産拡充に向けての取り組みは。また、「舟形マッシュルーム」への対応と、長期的な町独自の産業育成への取り組みは。

町長 ネギ、ニラは販売1億円台を目指し栽培指導や生産拡大の啓蒙に取り組んでいます。「舟形マッシュルーム」には施設の規模拡大時の補助事業の手続きをしました。町独自産業育成については、舟形町産業振興本部を設置し協議を進めています。

7番 野尻 侑議員

質問 映画鑑賞、講演会や小規模のコンサートを開催できる文化施設の整備を。

町長 町に多目的ホールという施設はありませんが、それに対応しているのが、中央公民館になります。他にも生涯学習センターなどの町保有施設を多目的に活用していきたいと思っています。



傍聴席で見守る仲間

9番 齊藤 梨里花議員

質問 小学校の統合で余った備品や消耗品はどのように扱われたのか。また各学校のプールについてはどのようにしていく予定か。

町長 必要な図書は新小学校に配置されました。テレビ、ピアノは町の施設で利用します。不要となったスノーモービル4台は公開で入札し、払い下げをしました。利用できるものは有効に活用します。プールは町で管理していき、利用の申し出があれば相談に応じます。

政策提言

10番 高橋 涼介議員

「若めゆ温泉に宿泊施設の併設を」

若めゆ温泉は、子供の遊べる遊具がある芝生のスペース、テニスコート、食堂、宴会のできる部屋、コートジ、多目的運動場があり多くの人で賑わっています。めくまれた環境を生かし、さらに利用者を増やすために宿泊施設の併設を提案します。



堂々と質問する議員

5番 須藤 湊人議員

質問 中学校は南校舎と北校舎を結ぶ廊下が東側の1階と2階にしかなく、遠回りをして生活してきた。校舎西側に階段と渡り廊下を設置する考えはないか。

町長 現在の校舎は昭和58年に2校のみの統合となったため、生徒数に応じた面積での国補助金となり、南校舎と北校舎を結ぶ廊下を削ったり、廊下の幅を狭めるなど、予算内で可能な設計をしました。現段階では利便性のため大きな改修工事は難しいと考えています。

6番 伊藤 桃代議員

質問 旧長沢小学校を「舟形マッシュルーム」で利用する話を聞いているが、具体的にどのように活用していくのか。また、体育館やグラウンドはどうするか。

町長 提案では、「舟形マッシュルーム」がNPO法人を立ち上げ、校舎等の維持や歴史的資料等の保管業務、食材にマッシュルームなど地域の特産品を使った農家レストランをする計画です。

体育館やグラウンドは地域の方々の「コミュニティ活動や健康増進のため「交流センター」として活用します。



8番 海藤 優奈議員

質問 長者原から3年間、ガードレール、歩道がないためいつも危険を感じながら通学していた。歩道の整備と急カーブの改善をお願いしたい。

町長 県では、今年度、舟中グラウンドの端から光生園までの歩道整備にとりかかりました。小松から長者原までの区間については、ほ場整備とあわせて、歩道整備ができるよう県に対し用地を確保していただくようお願いしています。

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

東日本大震災から3年をおかえようとしています。その復興途中大型台風による被害が、大島町、フイロペンとたて続けにあり、自然災害の恐ろしさを痛感させられました。

その自然相手の農業が、大きな改革を迫られている。政府は米の減反政策を5年後に廃止することや、TPPへの参加で農業の成長産業化を促して、農業の自立を促進していくという。

しかし、自立するにはどれほどの規模拡大を目指したら、生計を立てていけるのだろうか。私の住んでいる堀内地区は、典型的な中山間地域である。その中で政府が進めている大規模化が実現できるのでしょうか。

大規模化と同じく、我々小農家も自立していける農村の姿も明確にして欲しいものです。

議会の皆様方に「明るい農村、舟形町」の発展に、これまで以上に取り組むことを期待いたします。



小野 幸弘さん
(洲 崎)

庁舎耐震工事は順調

総務振興常任委員会 (11月1日)

庁舎耐震補強工事は工程通り順調に進んでいます。作業中の騒音は当初想定していたレベルより大きく、通常業務をしながらの工事の難しさを感じました。工事の進め方や安全対策に万全を期すようお願いをしました。

豪雨災害での農業被害はほぼ復旧を終え、道路被害については国、県の査定が終了し、今後復旧工事を進めていくとのことでした。

農業振興の状況については、多くの作物の作付け、試験栽培を行い栽培者も増加しており、今後も取り組んでいくとの説明を受けました。

今までのような作物に取り組んできた中で、舟形町の気候、土壌に適した作物を選定し、ネギ、ニラに次ぐ特産物を生産するために、農家、JA、行政が一体となった推進体制の確立が急務であると感じました。



庁舎耐震工事

固定資産評価委員会委員の選任に同意



大場 一善氏
長沢 1
(64歳)

任期は
平成26年2月23日より
平成29年2月22日まで

人権擁護委員の推薦に同意



八鍬 裕美氏
紫 山
(66歳)

任期は
平成26年4月1日より
平成29年3月31日まで



ぶどう畑で発電

自然エネルギー活用の取り組み

総務振興常任委員会 (11月18日～19日)

(1) ぶどう畑における太陽光パネルの活用状況
長野県須坂市が総合的に支援し産業活性化策として取り組む、雨除け兼用ソーラーパネルを用いた「露地ぶどう高度栽培システム」を研修しました。
本町において同様の活用を考えた場合、日照時間と雪が課題であることから作物と設置場所等の十分な検討が必要であると感じました。

(2) 公共施設を活用した太陽光発電の状況
須坂市および地元企業等が事業主体となり、公共施設を活用し防災設備を兼ね備えた太陽光発電事業を展開していました。
本町においても、須坂市をモデルとした避難場所等への設置について検討する必要があると思われました。

先進地を研修

議会活性化特別委員会 (10月28日)

川西町議会の視察研修を行い、議会基本条例やインターネット配信、議会広報特別委員会の常任委員会制や、編集体制について幅広く意見が交わされました。

議会基本条例制定後、議員の意識が高まったことや、町民参加にどう繋げていくかが課題であることがわかりました。

インターネット配信については、開かれた議会に対応するため配信を決めたが、町民からの批判的な意見はないことや、録画を編集してアップするには2カ月程時間がかかることを説明を受けました。

今回の研修を通して舟形町との違いが分かり、議会活性化に向けてさらに活発な議論ができるような有意義な研修となりました。



特別委員会視察研修 (川西町)

保・小・中一貫教育の取り組み

文教民生常任委員会 (11月18日～19日)

長野県野沢温泉村で実施する一貫教育は、保育園、小学校、中学校を総称して野沢温泉学園とし、隣接している校舎や職員体制は別々ですが、学園長、副学園長を中心に一貫した保育と教育活動を行うとの説明でした。

子どもたちのあらゆる可能性を伸ばしながら、子どもと先生が共に学びあい、育ち合う学園づくりに目指すようになっていました。

野沢温泉学園運営組織は、学園運営委員会・学園教職員会・のさむ保育園・野沢温泉小学校・野沢温泉中学校側面からの支援組織として、学園運営協議会・学園地域支援センターがあります。

学園・地域が一体となり、進められていることが理解できました。

舟形町教育委員会と野沢温泉学園が、より良い一貫教育実施のため交流を進めていただきたいと思います。



中学校教師による小学校での授業



シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

えがったなあ



□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？
11月に放映された「舟形の花嫁・お見合い大作戦」で、出会いができました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
山や木々が生き生きしていて、自然豊かなところです。空気が澄んでいて、食べ物も美味しくて、人があたたかいです。

□舟形町での生活はどうですか？
あたたかな家族に恵まれて、すごく幸せです。自然と共に時間が流れていく生活です。私は、そういう生活にあこがれていました。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？
嫁いで間もないので、まだよくわかりませんが、自然豊かな舟形町民の一人として、町の行事など、これから沢山おぼえていきたいと思っています。ごきげんようをお願いします。

□舟形町に望むことはありますか？
舟形町の生活に慣れたら、仕事をしたいと思っていますので、仕事先があれば安心です。

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。
今回は、神奈川県から内山に嫁いで来た伊藤恵美(旧姓村上)さんです。皆さんよろしくお願ひします。

お願い
「えがったなあ」に出してみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。
(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

表紙の説明

1月8日、子育て支援センター「みらい」でのふれあい育児の広場で、例年恒例となった小正月行事の「水木団子かざり」体験が行なわれました。

今年1年、健康で楽しい年になるように願いを込め、色とりどりのまゆ玉やタイなどの縁起物が飾り付けられました。
楽しい親子交流により大きなだんご木を完成させた様子です。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

平成26年の新しい年を迎え、今年はこの様な年になるのかと期待に胸を膨らませていきます。

春からは消費税が上がります。少なからず町民の皆様にも影響があるのではないかと心配しています。将来の安定的な財源の確保に向けた決断ではないかと思っております。協力していきたいと思っております。

議会だよりも、表紙をカラーにしたり、読みやすく親しみやすい紙面を目指して努力しているところですので、多くの意見をお待ちしております。

(佐藤 広幸記)

次回の定例会は
3月6日(木)～13日(木)
までの予定です。
皆様の傍聴をお待ちしています。
お問い合わせ先
議会事務局 ☎32-2111

発行責任者
議長 信夫 正雄
議会広報編集特別委員会
委員長 佐藤 広幸
副委員長 佐藤 勇
委員 加藤 憲彦
齋藤 好彦
奥山 謙三